

1、事業概要

人口減少による給水収益の減収や老朽化施設の更新に必要な事業費の確保など、今後の事業経営においては多くの課題が見込まれていたことから、平成 30 年度に「身延町簡易水道事業経営戦略」を作成しています。その後、町では令和 5 年度に簡易水道事業の統合を行い、現在、水道 1 事業を経営しています。本業務は、総務省通知の「経営戦略」改定推進について（令和 4 年 1 月 25 日付け総財公第 6 号・総財営第 1 号・総財準第 2 号）に基づき、平成 30 年度に策定された「身延町簡易水道事業経営戦略」の見直しを行うことを目的としました。

計画期間は令和 8 年度から令和 17 年度の 10 年間とします。

2、将来の事業環境

（1）料金収入の見通し

現行の水道料金収入では、今後発生する更新需要を賄うことが困難になっていくと予想されます。令和 11 年度から 5 年ごとに収益的収支当期純利益がマイナスにならないという条件で水道料金の改定を考慮しました。

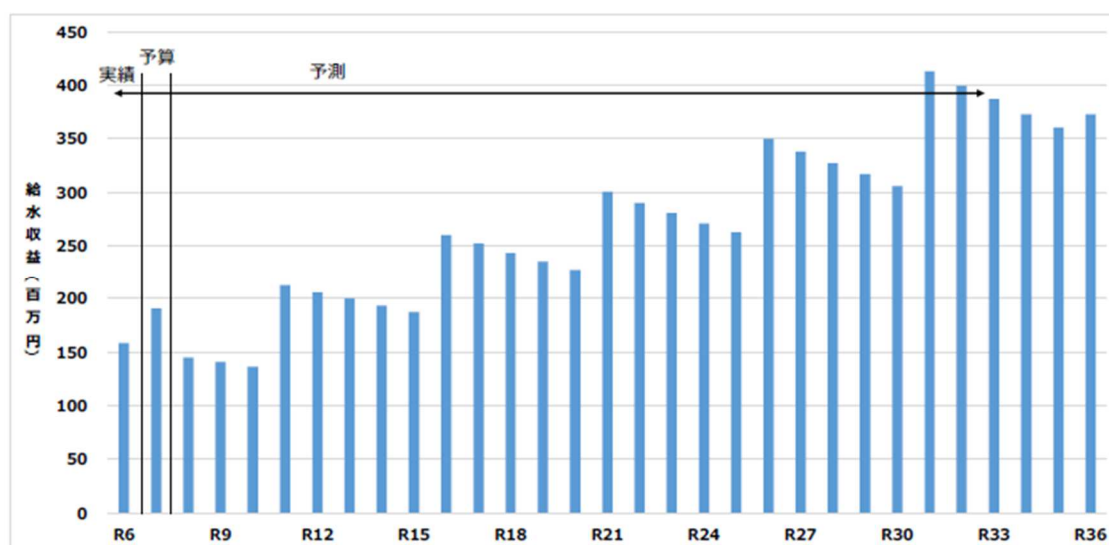


図 2-3 給水収益の推計

（2）今後の事業の予定

現在、更新している具体的な計画はないため、今後発生する更新需要を考慮して、年 1 億円の事業費を見込み、できる限りの工事を行うこととしました。事業の内訳については今後検討する見通しです。

3、経営の基本方針

「自然とやすらぎのまち 飛躍する水道をめざして」を経営の将来像として、水道事業の健全化を図りつつ、施設の維持更新並びに安全な水道水の供給に努め、現状と同程度の水準で水道事業の経営を行うことを目標とします。今後は、水需要の低下に合わせた施設・管路のダウンサイジングの検討や計画的な布設替えの検討、適正な水道料金の検討などに取り組む見込みです。

4、投資・財政計画（収支計画）

計画期間を令和 8 年度から令和 17 年度の 10 年間とする投資・財政計画（収支計画）となります。
現行料金を維持した場合、年 1 億円の事業費を賄うことは困難であるため、令和 11 年度と令和 16 年度に
料金改定を行う見通しとしました。一般会計からの繰出を現在と同程度の水準にすることで、料金改定率と
のバランスを図りました。

○収益的収支 (単位：千円)

		本年度	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
収益的収入	1 営業収益	145,778	141,665	136,919	213,227	206,571	200,681	193,844	187,773	260,622	252,810
	料金収入	145,107	140,994	136,248	212,556	205,900	200,010	193,173	187,102	259,951	252,139
	2 営業外収益	446,601	437,543	433,393	431,051	423,972	416,522	413,678	409,058	403,294	401,952
	補助金	273,415	273,415	273,415	273,415	273,415	273,415	273,415	273,415	273,415	273,415
	収入計	592,379	579,208	570,312	644,278	630,543	617,203	607,522	596,831	663,916	654,762
収益的支出	1 営業費用	542,318	529,700	531,869	534,967	533,670	530,856	535,695	534,067	532,613	539,140
	職員給与費	62,813	64,201	65,622	67,075	68,563	70,085	71,644	73,238	74,871	76,541
	経費	137,444	141,614	145,885	150,307	154,867	159,586	164,423	169,429	174,592	179,928
	減価償却費	342,061	323,885	320,362	317,585	310,240	301,184	299,628	291,400	283,150	282,671
	2 営業外費	25,027	25,424	25,952	26,574	27,348	28,375	29,553	30,759	31,932	33,137
	支出計	567,345	555,124	557,821	561,541	561,018	559,231	565,248	564,826	564,545	572,277
当年度純利益		12,763	11,813	220	70,466	57,254	45,701	30,003	19,734	87,100	70,214

表 4-1 収支計画（収益） ※抜粋

○資本的収支 (単位：千円)

		本年度	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
資本的収入	1 企業債	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	他会計負担金	126,959	126,959	126,959	126,959	126,959	126,959	126,959	126,959	126,959	126,959
	収入計	228,598	228,598	228,598	228,598	228,598	228,598	228,598	228,598	228,598	228,598
資本的支出	1 建設改良費	134,119	134,796	135,487	136,192	136,911	137,645	138,395	139,160	139,940	140,737
	2 企業債償還金	233,870	229,178	218,938	204,500	176,076	144,881	129,407	124,839	112,077	103,838
	支出計	367,989	363,974	354,425	340,692	312,987	282,526	267,802	263,999	252,017	244,573

表 4-2 収支計画（資本） ※抜粋

5、経営戦略の事後検証、更新に関する事項

前回の経営戦略では第二次総合計画を前期、中期、後期に区分し、各期に事後検証を行い、上位計画に対
応した経営戦略となるよう見直しを行うとしており、今後も継続して事後検証及び経営戦略の見直しを行
います。